

建設発生土処分先一覧表の掲載申請及び審査要領

(目的)

第1条 この要領は、広島県（以下「県」という。）が発注する建設工事に伴って発生する建設発生土を受け入れる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地及び建設発生土受入地（一時たい積）を、指定処分の候補地として建設発生土処分先一覧表に掲載するための申請及び審査等について必要な事項を定めることにより、建設発生土の有効利用と適正処理の推進を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この要領において「建設発生土」とは、建設工事に伴い副次的に得られた土砂（浚渫土を含む。）をいう。

2 この要領において「建設発生土リサイクルプラント」とは、建設発生土を受け入れ、その有効利用と適正処理を目的としている施設で、土砂及び骨材等を適正に再生し、販売等を目的に施設から再生材を搬出するものをいう。

3 この要領において「建設発生土受入地」とは、建設発生土を受け入れ、その埋立を目的としている施設で、広島県土砂の適正処理に関する条例（平成16年広島県条例第1号。以下「県土砂条例」という。）第16条本文の規定による許可（一時たい積行為を除く。）を受けているもの、同条第7号の規定による届出を行っているもの又は同条例第42条第2項の規定により公示された市町が制定した条例により土砂埋立行為に関する許可を受けているものという。

4 この要領において「建設発生土受入地（一時たい積）」とは、建設発生土を受け入れ、適正な一時たい積の管理を行いその有効利用を目的としている施設であり、県土砂条例第16条本文の規定による許可（一時たい積行為に限る。）を受けているものをいう。

5 この要領において「建設発生土処分先一覧表」とは、県が発注する建設工事に伴って発生する建設発生土の指定処分の候補地である建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地及び建設発生土受入地（一時たい積）の一覧表であって、県が発注する建設工事の積算資料として利用している実施設計単価表に掲載するものをいう。

6 この要領において「再生材」とは、受け入れた建設発生土を適正に再生処理して製造された処理土、改良土、再生砂及び再生骨材等をいう。

7 この要領において「処理土」とは、建設発生土を脱水、乾燥、粒度調整及び安定処理し、その性状を改良した土を総称したものをいう。

8 この要領において「改良土」とは、処理土のうちセメント系及び石灰系の改良材等を混合し、土の性状を化学的に改良（安定処理）したものをいう。

(新規掲載申請)

第3条 建設発生土処分先一覧表へ建設発生土リサイクルプラントの掲載を希望する者は、県土木局総務管理部技術企画課長（以下「技術企画課長」という。）に次の各号に掲げる書類及び図面（以下「申請書類」という。）を2部提出しなければならない。

(1) 申請書（別記様式第1号）

(2) 事業計画書（別記様式第2-1号）及び次の書類

ア 位置図（1/10000～1/50000程度）

イ 平面図（1/500～1/1000程度で設備の配置等が分かるもの）

ウ 敷地の権利関係が分かる書類（自社用地：公図及び登記簿の写し、借地：公図、登記簿及び借地用途が明記された契約書の写し）

- エ 設備の概略設計図
 - オ 受入土の再生処理フロー図
 - カ 再生材の試験成績表
 - キ 使用添加剤試験成績表（改良土を製造する施設に限る。）
 - ク その他、施設に係るすべての関係法令許可書等の写し
 - ケ 施設の現況写真（施設の全体、施設の詳細（処理機械及び材料試験室等）、受入土の仮置状況、受入土の処理状況、再生材の仮置状況、標識の掲示状況、防災施設及び環境対策施設等がわかるもの）
 - コ 施設の周辺の住民に対して、施設の概要を周知するよう努めていることが分かる資料
- (3) 受入価格表（別記様式第2 - 2号）及び受入価格の設定根拠資料
 - (4) 処理土販売価格表（別記様式第2 - 3号）（県が発注する建設工事に使用する処理土の販売を希望し、用途に応じた量及び品質の土砂を安定して供給できる施設に限る。）
 - (5) 確約書（別記様式第2 - 4号）
 - (6) 申請者が次条各号に該当しないことを誓約する書面（以下「誓約書」という。）（別記様式第3号）
- 2 建設発生土処分先一覧表へ建設発生土受入地の掲載を希望する者は、技術企画課長に次の各号に掲げる申請書類を2部提出しなければならない。
- (1) 申請書（別記様式第1号）
 - (2) 事業計画書（別記様式第4 - 1号）及び次の書類
 - ア 位置図（1/10000～1/50000程度）
 - イ 県土砂条例に関する次のいずれかの書類の写し
 - (ア) 県土砂条例第16条本文に規定する土砂埋立行為の許可を受けている場合は、同条例第17条第1項の規定による土砂埋立行為許可申請書、許可通知書、土砂埋立行為完了時の平面図及び断面図並びに事業計画が分かる資料
 - (イ) 県土砂条例第16条第7号の規定により土砂埋立行為の届出をしている場合は、土砂埋立行為届出書、届出書を受理した旨の通知、土砂埋立行為完了時の平面図及び断面図並びに事業計画、埋立土量及び埋立期間が分かる資料
 - (ウ) 県土砂条例第4条第2項の規定により公示された市町が制定した条例により土砂埋立行為に関する許可を受けている場合は、許可に係る申請書、許可を受けた旨の通知、土砂埋立行為完了時の平面図及び断面図並びに事業計画が分かる資料
 - ウ その他、施設に係るすべての関係法令許可書等の写し
 - エ 施設の現況写真（施設の全体、防災施設及び環境対策施設等がわかるもの）
 - オ 国道及び県道等から施設に至る道路について、ダンプトラック（10t車）が周辺の環境及び他の交通に支障なく通行できる幅員等が確保されていることがわかる写真
 - (3) 受入価格表（別記様式第4 - 2号）及び受入価格の設定根拠資料
 - (4) 確約書（別記様式第4 - 3号）
 - (5) 誓約書（別記様式第3号）
- 3 建設発生土処分先一覧表へ建設発生土受入地（一時たい積）の掲載を希望する者は、技術企画課長に次の各号に掲げる申請書類を2部提出しなければならない。
- (1) 申請書（別記様式第1号）
 - (2) 事業計画書（別記様式第5 - 1号）及び次の書類
 - ア 位置図（1/10000～1/50000程度）
 - イ 県土砂条例に関する次の書類の写し
 - (ア) 県土砂条例第16条本文に規定する土砂埋立行為のうち、同条例第17条第2項の規定による一時たい積行為の許可申請書及び許可通知書
 - (イ) 土砂のたい積が最大となった場合の一時たい積場の平面図及び断面図

ウ その他，施設に係るすべての関係法令許可書等の写し

エ 施設の現況写真（施設の全体，受入土の仮置状況，防災施設及び環境対策施設等がわかるもの）

オ 国道及び県道等から施設に至る道路について，ダンプトラック（10t車）が周辺の環境及び他の交通に支障なく通行できる幅員等が確保されていることがわかる写真

(3) 受入価格表（別記様式第4 - 2号）及び受入価格の設定根拠資料

(4) 確約書（別記様式第5 - 2号）

(5) 誓約書（別記様式第3号）

4 建設発生土処分先一覧表への新規掲載は，毎年度4月及び10月の2回行うことを原則とし，新規申請が1月末日（休日を除く。）までに行われたものについては翌年度の4月掲載の対象とし，7月末日（休日を除く。）までに行われたものについてはその年度の10月掲載の対象とする。

（申請者の要件）

第4条 技術企画課長は，申請者が次の各号のいずれかに該当するときは，その者の申請に係る建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を建設発生土処分先一覧表に掲載しない。

(1) 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ないもの

(2) 建設業法（昭和24年法律第100号）第29条第1項第5号若しくは6号に該当することにより一般建設業の許可若しくは特定建設業の許可を取り消され，又は廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第7条の4若しくは第14条の3の2（第14条の6において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により許可を取り消され，その取り消しの日から5年を経過しない者

(3) 前号の許可の取り消し処分に係る行政手続法（平成5年法律第88号）第15条の規定による通知があった日から当該処分があった日又は処分をしないことの決定があった日までの間に，建設業法第12条第5号に該当する旨の同条の規定による届出をした者並びに廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条の2第3項（第14条の2第3項及び第14条の5第3項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定による一般廃棄物又は産業廃棄物の収集，運搬又は処分（再生することを含む。）の事業のいずれかの事業の全部の廃止の届出をした者で当該届出の日から5年を経過しないもの

(4) 前号に規定する期間内に同号に規定する届出があった場合において，同号の通知の前日60日以内に当該届出に係る法人の役員若しくは使用人（支配人及び支店又は常時建設工事の請負契約を締結する事務所の代表者（支配人である者を除く。））であるものとする。以下同じ。）であった者又は当該届出に係る個人の使用人であった者で，当該届出の日から5年を経過しないもの

(5) 建設業法第28条第3項又は第5項の規定により営業の停止を命ぜられ，その停止の期間が経過しない者

(6) 建設業法第29条の4の規定により営業を禁止され，その禁止の期間が経過しない者

(7) 禁錮以上の刑に処せられ，その刑の執行を終わり，又はその刑の執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者

(8) 建設業法，建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第3条の2各号に掲げるもの若しくは廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に違反したことにより，又は刑法（明治40年法律第45号）第204条，第206条，第208条，第208条の3，第222条若しくは第247条の罪若しくは暴力行為等処罰に関する法律（大正15年法律第60号）の罪を犯したことにより，罰金の刑に処せられ，その刑の執行を終わり，又はその刑の執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者

(9) その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由があ

る者

- (10) 暴力団員等による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）
- (11) 営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人が前各号のいずれかに該当するもの
- (12) 法人でその役員又は使用人のうちに、第1号から第4号まで又は第6号から第10号までのいずれかに該当する者のあるもの
- (13) 個人で使用人のうちに、第1号から第4号まで又は第6号から第10号までのいずれかに該当する者のあるもの
- (14) 暴力団員等がその事業活動を支配するもの

（申請書類の審査及び現地調査）

第5条 技術企画課長は、建設発生土処分先一覧表に掲載する建設発生土リサイクルプラントの判断基準により、申請者から提出された建設発生土リサイクルプラントの掲載に係る申請書類の審査及び現地調査を行う。

2 技術企画課長は、建設発生土処分先一覧表に掲載する受入地等の判断基準により、申請者から提出された建設発生土受入地及び建設発生土受入地（一時たい積）の掲載に係る申請書類を審査する。

（建設発生土処分先一覧表への掲載）

第6条 技術企画課長は、前条に規定する審査等により適正と判断した場合は、申請書類に記載された事項を建設発生土処分先一覧表に掲載し、掲載通知書（別記様式第6号）により当該申請者（以下「事業者」という。）へ通知する。

2 前項に規定する建設発生土処分先一覧表への掲載の効力は、掲載した年度の9月まで（10月に新規掲載された場合は翌年度の9月まで）とし、事業者はその更新を受けなければ、その期間の経過によってその効力を失う。

（不掲載通知）

第7条 技術企画課長は、第5条に規定する審査等により適正と判断できない場合は、不掲載通知書（別記様式第7号）により申請者へ通知する。

（定期報告）

第8条 建設発生土受入地（一時たい積）の事業者は、定期的に、技術企画課長に次に掲げる書類を2部提出しなければならない。この場合において、定期的とは、毎月20日までに前月分の報告が行われることとする。

- (1) 定期報告書（別記様式第8号）
- (2) 搬入・搬出実績表（別記様式第9-1号）
- (3) 搬入集計表（別記様式第9-2号）
- (4) 搬出集計表（別記様式第9-3号）
- (5) 写真（当該月末時点の受入土の仮置状況及び当該月に搬出したすべての搬出先の土砂埋立行為の状況がわかるもの）

（更新掲載申請）

第9条 建設発生土リサイクルプラントの建設発生土処分先一覧表への掲載の更新を希望する事業者は、技術企画課長に次の各号に掲げる申請書類を2部提出しなければならない。

- (1) 更新申請書（別記様式第1号）

- (2) 再生材の試験成績表
 - (3) 使用添加剤試験成績表（改良土を製造する施設に限る。）
 - (4) その他、施設に係るすべての関係法令許可書等の写し（変更がある場合に限る。）
 - (5) 施設の現況写真（施設の全体、施設の詳細（処理機械及び材料試験室等）、受入土の仮置状況、受入土の処理状況、再生材の仮置状況、防災施設及び環境対策施設等のわかるもの）
 - (6) 受入価格表（別記様式第2 - 2号）及び受入価格の設定根拠資料
 - (7) 処理土販売価格表（別記様式第2 - 3号）（県が発注する建設工事に使用する処理土の販売を希望し、用途に応じた量及び品質の土砂を安定して供給できる施設に限る。）
 - (8) 搬入・搬出実績表（別記様式第10 - 1号）
 - (9) 搬入集計表（別記様式第10 - 2号）
 - (10) 搬出集計表（別記様式第10 - 3号）
 - (11) 過去1年間の建設発生土の受入辞退及び処理土の販売辞退の状況が確認できる資料
- 2 建設発生土受入地の建設発生土処分先一覧表への掲載の更新を希望する事業者は、技術企画課長に次の各号に掲げる申請書類を2部提出しなければならない。
- (1) 更新申請書（別記様式第1号）
 - (2) 県土砂条例に関する次のいずれかの書類の写し（変更がある場合に限る。）
 - ア 県土砂条例第16条本文に規定する土砂埋立行為の許可を受けている場合は、同条例第17条第1項の規定による土砂埋立行為許可申請書、許可通知書、土砂埋立行為完了時の平面図及び断面図並びに事業計画が分かる資料
 - イ 県土砂条例第16条第7号の規定により土砂埋立行為の届出をしている場合は、土砂埋立行為届出書、届出書を受理した旨の通知、土砂埋立行為完了時の平面図及び断面図並びに事業計画、埋立土量及び埋立期間が分かる資料
 - ウ 土砂条例第42条第2項の規定により公示された市町が制定した条例により土砂埋立行為に関する許可を受けている場合は、許可に係る申請書、許可を受けた旨の通知、土砂埋立行為完了時の平面図及び断面図並びに事業計画が分かる資料
 - (3) その他、施設に係る各種関係法令許可書等の写し（変更がある場合に限る。）
 - (4) 施設の現況写真（施設の全体、防災施設及び環境対策施設等がわかるもの）
 - (5) 受入価格表（別記様式第4 - 2号）及び受入価格の設定根拠資料
 - (6) 搬入実績表（別記様式第11号）
 - (7) 搬入集計表（別記様式第9 - 2号）
 - (8) 1年間の建設発生土の受入辞退の状況が確認できる資料
- 3 建設発生土受入地（一時たい積）の建設発生土処分先一覧表への掲載の更新を希望する事業者は、技術企画課長に次の各号に掲げる申請書類を2部提出しなければならない。
- (1) 更新申請書（別記様式第1号）
 - (2) 県土砂条例に関する次の書類の写し（変更がある場合に限る。）
 - ア 県土砂条例第16条本文に規定する土砂埋立行為のうち、同条例第17条第2項の規定による一時たい積行為の許可申請書及び許可通知書
 - イ 土砂のたい積が最大となった場合の一時たい積場の平面図及び断面図
 - (3) その他、施設に係る関係法令許可書等の写し（変更がある場合に限る。）
 - (4) 施設の現況写真（施設の全体、受入土の仮置状況、防災施設及び環境対策施設等がわかるもの）
 - (5) 受入価格表（別記様式第4 - 2号）及び受入価格の設定根拠資料
 - (6) 搬入・搬出実績表（別記様式第9 - 1号）
 - (7) 搬入集計表（別記様式第9 - 2号）
 - (8) 搬出集計表（別記様式第9 - 3号）
 - (9) 1年間の建設発生土の受入辞退の状況が確認できる資料
- 4 建設発生土処分先一覧表の更新は毎年度10月の1回を原則とし、更新を希望する事業者は当該

年度の7月末日（休日を除く。）までに、技術企画課長に更新申請に必要な申請書類（以下「更新申請書類」という。）を2部提出しなければならない。

（更新申請書類の審査及び現地調査）

第10条 更新申請書類の審査及び現地調査については、第5条の規定を準用する。

（建設発生土処分先一覧表の更新掲載）

第11条 建設発生土処分先一覧表の更新掲載については、第6条の規定を準用する。

（不掲載通知）

第12条 更新申請に係る不掲載通知の送付については、第7条の規定を準用する。

（変更申請）

第13条 事業者は、申請書類の記載内容に変更が生じたときは、遅滞なく、技術企画課長に変更申請書（別記様式第12号）及び第3条第1項から第3項までに規定する申請書類のうち変更となるもの（以下「変更申請書類」という。）を2部提出しなければならない。

（変更申請書類の審査及び現地調査）

第14条 技術企画課長は、事業者から提出された変更申請書類を審査し、必要であると判断した場合は現地調査を行う。

（建設発生土処分先一覧表の変更）

第15条 技術企画課長は、前条に規定する審査等により変更内容が適正と判断した場合は、建設発生土処分先一覧表の変更を行う。この場合において、建設発生土処分先一覧表の変更は変更申請書類が提出された翌月に行う。

（受入辞退及び販売辞退）

第16条 事業者は、やむを得ない事情により建設発生土の受入を辞退する場合は、建設発生土の搬入希望者の要請に基づき、受入辞退理由書（別記様式第13号）を搬入希望者に提出し、その写しを1年間保管しなければならない。

2 事業者は、やむを得ない事情により処理土の販売を辞退する場合は、処理土の購入希望者の要請に基づき、販売辞退理由書（別記様式第13号）を購入希望者に提出し、その写しを1年間保管しなければならない。

（調査等への協力）

第17条 事業者は、建設発生土の有効利用と適正処理の推進に関する調査並びに建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地及び建設発生土受入地（一時たい積）の現地調査等について技術企画課長から要請があった場合は、これに応じ、協力しなければならない。

（是正勧告）

第18条 技術企画課長は、事業者が次の各号のいずれかに該当する場合は、一定期間を設けて、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）の是正勧告通知（別記様式第14号）により、事業者には正のために必要な勧告又は助言を行う。

- (1) 申請書類の内容に虚偽の記載があったとき。
- (2) 申請書類の記載と異なる行為があったとき。
- (3) 現地調査により、産業廃棄物の混入が確認されたとき。

- (4) 第3条第1項から第3項までに規定する確約書若しくは誓約書に違反したとき又は虚偽の記載があったとき。
- (5) 第9条に規定する更新申請を行わなかったとき。
- (6) 第13条に規定する変更申請を行うことなく申請書類の記載内容を変更していたとき。
- (7) 第16条に規定する受入辞退理由書及び販売辞退理由書を搬入希望者及び購入希望者の要請にもかかわらず提出しなかったとき。
- (8) 前条に規定する調査及び現地調査等について、技術企画課長からの要請に応じなかったとき。
- (9) 関係法令に違反する等、不正な行為があったとき。
- (10) 周辺環境への配慮を怠る等、地域住民との間で紛争が生じたとき。

(建設発生土処分先一覧表掲載の取消)

第19条 技術企画課長は、前条の規定による期間内に当該事業者の是正若しくは改善が図られない場合又は事業者が第4条各号のいずれかに該当するに至った場合は、建設発生土処分先一覧表から当該事業者の建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地及び建設発生土受入地(一時たい積)の掲載を取り消す。

(建設発生土処分先一覧表の公表)

第20条 技術企画課長は、建設発生土処分先一覧表に掲載された事項のうち、施設の種類、名称、所在地及び連絡先等を、建設工事の入札及び契約に係る情報の公表に関する規則(平成13年広島県規則67号)に基づいて設置する閲覧所において公表する。

(受入中止)

第21条 事業者は、建設発生土の受入を中止しようとする場合は、受入を中止する1か月前までに、技術企画課長に受入中止届(別記様式第15号)を2部提出しなければならない。

(受入完了)

第22条 事業者は、建設発生土受入地における建設発生土の受入計画が完了したときは、遅滞なく、技術企画課長に建設発生土受入地完了届(別記様式第16号)を2部提出しなければならない。

(建設発生土処分先一覧表からの削除)

第23条 技術企画課長は、第21条に規定する受入中止届及び前条に規定する建設発生土受入地完了届を受理した場合は、建設発生土処分先一覧表から当該事業者の建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地及び建設発生土受入地(一時たい積)に係る記載を削除する。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、平成20年6月1日から施行する。ただし、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地及び建設発生土受入地(一時たい積)の建設発生土処分先一覧表への掲載については、平成20年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要領の施行の際、現に発生土を受け入れる再資源化施設として広島県の実施設単価表に掲載されている施設は、経過措置により建設発生土処分先一覧表に掲載する施設の判断基準に基づき、平成20年10月1日から平成21年9月30日までの1年間に限り、建設発生土処分先一覧表に掲載されることができる。